

第 47 回

2 年・3 年 教職課程管弦楽・吹奏楽

定期・修了演奏会

2019 年 12 月 22 日 TCM ホール

教職課程管弦楽・吹奏楽の演奏会が行われました。教職課程を履修する器楽専攻生（弦・管・打楽器）以外の 2、3 年生向けに開講されており、47 年も続く本学ならではの授業です。

学生たちは専門外の楽器の習得に苦心しながら、上手に演奏ができない子どもの気持ちを理解すること、さらには定期演奏会や夏期強化合宿などを通じて、アンサンブルを楽しむ心と団体行動における指導、企画・運営方法などを学びます。ここでの経験は、各自の専攻楽器へのさらなる理解にも通じます。また専攻を越えて学友と出会うよい機会にもなっています。



保護者の感想

●子どもが大学2年生の時から聴きに来ています。みなさん専攻ではない楽器をやっているらしいですが、やはり回を重ねるごとにまとまりがでてきていると感じます。みんなで音を合わせたり自分の技術を磨いたり、総合的な勉強ができるいい授業だなと思います。今日の演奏は集大成ということで感動しました。(母)

●こんなにすてきなホールで演奏できる学生さんたちは、ものすごく恵まれていて幸せだと感動しました。すばらしいです。学校の施設自体も感心しましたし、学生たちも3年生でありながらこれだけの演奏を聴かせてくれましたので、お一人おひとりの学生さんに会ってありがとうございました。聴きながらずっと涙が出ていました。私たちの時代にはこんなにすばらしい施設も学校もなかったんですよ。さっき孫と会えたのですが、体調が悪くて来られるかなと思って来たので、余計に涙。こんなにすばらしい技術を教えてください。ありがとうございました。(祖母)

学生の感想

●池上芳樹さん(大学3年・音楽教育 コンサートマスター)

コンサートマスターにはみんなから指名されました。ヴァイオリンはこの授業の受講を始めた時からなので1年半くらいです。専攻楽器はピアノなので、他の楽器を全く触ったことがありませんでしたが、オーケストラを通じて合奏の楽しさに目覚めました。2年間ですごく勉強になりました。専攻のピアノにも生かせそうです。

●藤江七帆さん(大学2年・ピアノ)

初めての演奏会でしたが、楽しくできてよかったです。来年も上達できるように1年間がんばります。

●渡邊芽唯さん(大学2年・ピアノ)

専攻楽器はピアノですがフルートを担当しました。昔少しフルートを吹いていたことがあるのですが、そのあと何年も吹いていなくて。久しぶりに1年間やってみて、また吹けるようになってうれしいです。勉強になりました。







広報課

